



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)  
           益田デーロ (英語部)  
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)  
           (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
                   Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「芝浦工大」

『奇蹟の学校』という本が出版された。有元史郎という芝浦工大の創立者の話である。教会連合で大活躍されているミコ・ヘンソンさんの父上にあたる。有元氏は三十歳にして未だ学生で、経歴も地位も何も無い身でありながら、芝浦工大の前身である東京高等工商学校を開いたのだった。専門学校でもない、各種学校であり、昭和が始まったばかりの一九二七年のことである。なぜ、彼がそのような学校を設立したのかというと、個人的な利益を越えた国家の発展のためであり、どこかの職場に行っても通用する工業立国の基礎を造り、日本の国力をさらに高めたいという一心からであった。彼はそのため五つの学士号を持ち三十八歳まで現役の学生であった。教え子たちを多方面から教育するためである。だが、名もない各種学校が生きてゆくためには、魅力的で、実力のある教員を集めなければならなかったし、常識的に考えれば、開校まもない各種学校に著名な学者や技術者が来てくれるはずもなかった。そこで彼は一計を案じた。教育スタッフの大半を非常勤で構成するのであれば、優秀な教員を確保することが出来るという考えである。ところが彼自身はまだ三十歳の学生で、実績もなく、金もない。更に彼は策を練った。日本の現状、進むべき道、そのためにはいかに技術者教育が重要であるかなどを東京市長、貴族院議員、大学教授、大蔵省高級官僚とかを回って寄付金を集め、彼らのサインを添付して各種学校新設の申請をするというアイデアである。はじめは難色を示した当局も相当有力な後援者がいるというので認可を出した。それによって大田区の平和島に東京高等工商学校が開校し、土木工学科、建築工学科と共に商業学科も開設したのだった。二〇〇人から四〇〇人が毎年入学した。やがて有元氏の国家発展の考えは、政府や世論に訴えるより、自分が政治家になったほうが早道であると考えて、岡山県津山市の市長に打って出て当選する。一九三七年のことである。だが翌年、不慮の列車事故で四十一歳の生涯を閉じたのであった。

有元氏には希望があった。工業立国の基礎を造ることだったが、果たして私たちクリスチャンに彼のような国を憂う熱き想いがあるだろうか。パウロはローマ書で「わたしの切に望んだところは、他人の土台の上に建てることはしないで、キリストの御名がまだ唱えられていない所に福音を宣べ伝えること」(十五・20)だと言う。私たちも主のために切に望む熱きものを持ちたいものだ。そもそも私たちこそ神の国立国のために国境なき世界の最前線に居るのだから。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在では日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

